

各部のなまえ

上糸の通し方

正しい上糸通し **×** きちんと入っていない

正しい上糸通し **×** 逆に通している

正しい上糸通し **×** 逆に通している **×** からんで通してある

針の取りかえ方

針棒 針止めねじ

しめる ゆるめる

平らな面

針棒 針

- はずみ車を手前にまわして針を上にあげます。
- 針止めねじを手前にまわしてゆるめ針をはずします。
- 新しい針は柄平面(平らな面)を向こう側に向けて、ピンに当たるまでいっぱいにさし込みます。

下糸の巻き方

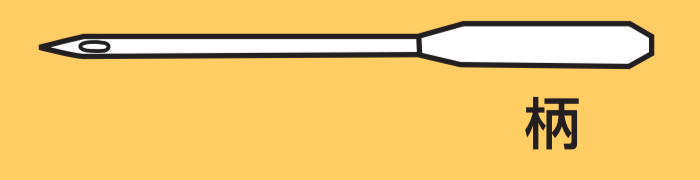
※巻き方が不均等だと、うまくぬえない原因になります。

布と針の関係

※のびやすい布や目とびのしやすい布をぬうときには、ブルー針を使うと効果があります。

布地	針	糸
うすい布地 (シーチング、ブロードなど)	11番	80~100番カタン糸 90番 ポリエステル糸
ふつうの布地 (木綿、毛織物など)	14番	60~80番カタン糸 60番 ポリエステル糸
厚い布地 (デニム、ハンブなど)	16番	40~60番カタン糸 60番 ポリエステル糸

※針の太さを示す番号は、柄に表示してあります。数字が大きくなれば太くなります。



針棒糸かけ 針止めねじ

押さえ止めねじ 送り歯

押さえ 針板

ボビン かくいた角板

- クラッチつまみを止まるまで軽く引き出します。(395型、765型は不要)
- 下糸巻き糸案内に掛けます。
- ボビンの穴に内側から糸を通し、ボビンを下糸巻き軸にさしこみます。
- ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。糸の端をつまんだまま巻きはじめ、糸がボビンに3重ぐらい巻いたらミシンを止めて穴のさわで糸を切ります。再びミシンをスタートさせて、巻きます。
- 巻き終わったら、ボビンをもとに戻して糸を切ります。
- クラッチつまみを押しもとの位置に戻します。

① 糸立て棒

下糸巻き糸案内 上糸調子ダイヤル

下糸巻き軸

ボビン押さえ

はずみ車

送りダイヤル

スピードコントロールつまみ

返しぬいレバー

スタート・ストップボタン

② 上糸糸案内

④ 天びん

③ 上糸案内板

⑤ 針棒糸かけ

めんいた 糸切り

スピード ゆっくり → 早い

JANOME 396 School Model

返しぬい